

もち²×スマ もちもちの木 smile

TOPICS

✓第23期通常総会を開催 ✓古田のおうち 災害用井戸を設置

✓赤い羽根共同募金「社会課題解決プロジェクト」参加

✓もちもちスタッフ それぞれの働き方

デイサービス古田のおうち 新宅 知美さん



ごあいさつ

寒中お見舞い申し上げます。
本格的な寒さを迎える今日この頃、皆様はいかがお過ごしでしょうか。

今年の干支「巳」は脱皮をする様子から復活や再生を意味し、「巳」を「実」に掛けて、巳年は実を結ぶ年ともいわれています。

2025 年以降の日本社会は、国民の 5 人に 1 人が 75 歳以上の後期高齢者になり、認知症患者の増加、介護人材の不足、介護を必要としているのに受けられない介護難民の増加、といった問題が加速度的に進むと予測されています。

来るそれらの問題に対応するため、もちもちの木では、サポート・サービスの多様化やコミュニティケアの構築など、効果的と思われるさまざまな活動を長年地道に行ってまいりました。それら蒔いてきた種を育てている最中ではありますが、大きく「実」を結ぶよう皆様と共有し育んでいきたいと存じます。

高齢化は止められませんが、「重度の介護が必要になっても住み慣れた地域で人生の最後まで自分らしい生活ができる」よう、もちもちの木は、地域の皆様をサポートする最善の方法を引き続き模索してまいります。

厳寒のみぎり、何より皆様もご自愛くださいますようお願い申し上げます。



理事長 竹中庸子

令和6年度 第23期通常総会を開催しました

去る令和 6 年 6 月 8 日、オンラインにて第 23 期通常総会を開催し、無事終了しましたのでご報告いたします。全議案とも満場一致で可決、承認されました。デイサービス土橋のおうちは最後の活動報告となりました。

今後におきましても、なお一層のご理解ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

古田のおうち 災害用井戸を設置

去る令和 6 年 12 月、古田のおうち新施設建設予定地に災害用井戸を設置いたしました。災害時の水のライフライン確保と地域の皆様への提供を目的としています。

新施設に関する、進捗状況のお知らせはニュースレターまたはホームページにてご案内いたします。



古田のおうち新施設建設地



災害用井戸

職員の腰痛予防対策プログラムを実施

令和 6 年 12 月、厚労省「令和 6 年度エイジフレンドリー補助金」の交付を受け、作業療法士の國本文平先生の『働く、を楽しむための腰痛アップデート講座』を開催しました。全職員を対象としたグループレッスンの他、腰痛リスクが高い職員にパーソナルトレーニングを実施。最新の骨盤の機能解剖学にもとづき、フランスのガスケアプローチによる姿勢と呼吸の改善から腰痛対策に取り組みました。



“すべての人に居場所がある地域社会”をめざす私たちの活動に参加してみませんか？

特定非営利活動法人もちもちの木では、賛助会員を募集しています。

法人・個人とも 年会費 2,000 円

お預かりする貴重な会費は、介護保険事業と地域コミュニティ支援事業を通じて行う様々なプロジェクトのほか、法人の日常的な運営のために大切に使用させていただきます。皆さま一人ひとりのご支援が、私たちの活動の大きな力になります。皆さまからのご支援、心よりお待ちしております。

※詳細は web サイト、またはもちもちの木総務まで

もちもちの木 働き方改革



もちもちの木には、希望に応じた雇用形態のほか、育児や介護、地域活動や芸術活動との両立など、多様な働き方があります。今回は、デイサービス古田のおうちのスタッフをご紹介します。

デイサービス古田のおうちの介護職として2021年に入职し、現在4年目勤務の新宅知美さん。島根県益田市の出身で、幼い頃から人と接するのが好きだったという新宅さんは、地域に障がい者の方がいたり、高校生の時に福祉系のボランティア活動をした経験から介護福祉士を目指して六日市にある専門学校に進学。卒業してから現在まで介護福祉士として業界に携わっています。



新宅知美さん

学校卒業後は広島市内の病院系列老人保健施設へ勤務していましたが、25歳で長男の出産を機に退職。その3年後、生まれた長女が先天性心疾患や合併症により3年間ほど入退院を繰り返し、看護に明け暮れる日々が続きました。

しかし、希望をもって治療に取り組んでいた長女が3歳の時に亡くなり、身体的、精神的な辛さから不安障害を発症。「何か良くないことが起きるのではないかと先々のことに強い不安を感じてしまい、家から出ることができず、ほぼ一日中寝込んで身動きが取れないような状態が何年も続いたといいます。

体調を崩している間にも「このままの自分では嫌だ」「介護福祉士の仕事に復帰したい」とずっと思っていたという新宅さん。次男が生まれたことで、少しずつ前向きになることができた頃、心身の様子を見ながら2年間ほど介護事業所でパートなどを務めました。職場環境の問題などから再び体調を崩し辞職。結果、トータルで20年ほどのブランクができたと話します。

自身の不安障害は、総合診療で診察を受けていましたが、薬の多さに辟易し数年前から精神科一本に絞ることに。良い医師に巡り合え、『部屋の外へ出て近所の公園まで散歩する』というような行動療法などで、少しずつ自身の症状をコントロールできるようになり改善していきました。

徐々に外出に慣れ、地域のボランティア活動に参加するように。と同時に、再就職活動に取り組むも、体

を慣らすために短時間で働けるような事業所はなく「長時間働けるようになる」ことが条件で採用保留になっていました。

再就職が厳しいかと思っていた時、ちょうど次男の同級生の保護者がもちもちの木のスタッフであることが分かり、紹介を受けて面接に至りました。

もちもちの木は、体を慣らすための短時間の勤務が可能だったこと、事情を汲んでさまざまなことに配慮してもらえたことが本当に助かった、と新宅さんは話します。

「いつでも来ていいよ」というウェルカムな雰囲気があって、その気楽さが心地良かったそうです。



「もちもちの職場は、スタッフが肩書や役職関係なくお互いの立場を尊重して意見を言い合える環境があって、とっても働きやすい」という新宅さん。

現在は、日常業務のほか、法人内で行われる研修やイベントなどの企画運営に忙しく取り組んでいます。

「介護福祉士の仕事が好き。今は本当に仕事が楽しいです」と朗らかに話す新宅さん。

「利用者さまもスタッフも笑顔の絶えない安心できる居場所を目指して盛り上げていきたい」と笑顔で今後の抱負を話してくれました。

赤い羽根共同募金「社会課題解決プロジェクト」募金活動に参加いたします！



地域の皆様や専門職の協力を得ながら、地域で生活する上でのさまざまな困りごとをサポートしている住まいと暮らしの保健室「よってみて保健室」。この度の募金は「保健室」の活動資金として大切にに使わせていただきます。募金期間は令和7年1月から3月末までです。なにとぞご支援の程よろしくお願いします。



尚、昨年度の募金を活用し、令和7年3月1日(土)と2日(日)に「チョコレートな人々」の広島上映会を広島市総合福祉センターにて開催いたします。皆様お誘いあわせの上、是非お越しください。

参加お申込みはこちら→



特定非営利活動法人

もちもちの木

～優しい心～ 迷ったり 探さぬよう そばにいるよ

【本部】 土橋のおうち 中区土橋町5-35

TEL: 082 (294) 9346 FAX: 082 (294) 9328

MAIL: mochimochi.npo@gmail.com

◎ 古田のおうち 西区古江新町8-32 TEL: 082 (272) 2701

◎ 庚午のおうち 西区庚午中一丁目9-11 ※お問い合わせは土橋のおうちへ

WEBサイト
mochi2.stars.ne.jp

